

福岡県立特別支援学校「福岡高等学園」のグランドデザイン

■校訓

<希望> <意欲> <自立>

■ミッション

「職業的自立と社会参加を実現する人間の育成」
後期中等教育における知的障がい教育の専門校として、職業的自立と社会参加を実現する人間の育成をする

■本校の将来ビジョン（目指す学校像）

- 生徒が生き生きと活動でき、社会的・職業的に自立する人間を育成する学校
- 人権を尊重し、安心・安全で、規律ある楽しい学校
- 生徒に分かりやすく、内容が充実した授業が行われる学校
- 保護者・地域に信頼・期待され、よき伝統・校風のある学校

■学校教育目標

職業的自立及び社会参加を実現する意志と実践力を有し、誇りと思いやりをもって他者と接する人間の育成をめざす。

■学校運営方針

◎全教職員の共通理解の下、組織力を発揮し、創意工夫に満ちた学校創りを行う。

- 障がいの特性や教育的ニーズに応じた専門的な教育とカリキュラムマネジメントによる指導の改善充実
- 風通しのよい組織運営によるチーム力の向上及び学校組織力の強化とPDCAによる業務改善
- 生徒が生涯をとおして自分らしい生き方を確立できるキャリア教育の充実
- 地域の特別支援教育のセンター的機能の発揮並びに「チーム学校」を踏まえた地域資源や関係機関の支援の活用促進

■重点目標《A～G何のために》及び具体的方策《a～d何をするか》

A職業教育の充実

- a生徒の就労先とのマッチングを図るために、校内連携のもと実習の機会を確保する（進路指導部）
- b生徒の就労に関する意欲及び能力の向上のために『デュアルシステム型現場実習』の導入を検討する（進路指導部）
- cカリキュラム・マネジメント推進委員会と分掌間の連携の充実を図り、教育課程の在り方を見直していく（カリネ推進委員会）
- d就業体験や職場実習等のアセスメントの充実を図るとともに評価表をフィードバックし、一人一人の実態に応じた職業教育を行う（教務部・進路指導部）

B生活教育の充実

- a卒業後を見据え、生活管理能力を定着させるために学校、寄宿舎、家庭及び関係機関が密に連携し、職業生活における必要なスキルの育成を図る（学年・寮務部）
- b自治会活動や余暇活動のさらなる充実を図るとともに、ルールの緩和等を検討し、生徒の自主性や自立心を育む（学年・寮務部）
- c指導記録簿や生活自立段階表等の活用をとおして、個や状況に応じた適切な指導・支援を行う（寮務部）
- d生徒が安心して安全な環境で生活し学ぶことができるように、大規模改修工事等による生活空間や導線の変化に適切に対応する。（寮務部）

C学年等経営の充実

- a学校行事や学年、学級活動等をとおして様々な経験を積ませることで、他者と協調し、自らの役割を責任をもって果たそうとする態度を養う（学年）
- bホームルーム活動や各教科の指導をとおして、他者を尊重する態度を育てる（学年）
- c社会人としてのマナーを身に付け、集団の一員という自覚をもたせるために挨拶の徹底、決まりの遵守、整理整頓等の意識の向上を図る（学年・寮務部）
- d就業体験や職場実習等をとおして、一人一人の進路についてのニーズを把握し、自己の将来の職業生活及び社会生活についての意識を高める働き掛けを行う（学年・進路指導部）

知的障がい教育の専門性とキャリア教育の充実

D学習指導の充実

- a生徒が学ぶことと自己の将来とのつながりを見通せる学習指導、生徒のコミュニケーションの効力感を高める学習指導の充実のための研修を企画、実施する（研修部・進路部・学年）
- bミッションや学校教育目標を踏まえた教育内容を整理するとともに年間指導計画を立案し、月ごと、学期ごとに振り返りを行い、指導の改善工夫を図る（教務部）
- c生徒の実態により適合した教務内規を整理する（教務部）
- d学習指導に関して外部講師を招聘した職員研修を実施するとともに自立活動の充実を図る（教務部・研修部・特別支援教育部・企画庶務部）

E心と体の教育の充実

- aよりよい人間関係が築けるように校内連携の充実を図り、教育活動全体をとおして社会的スキルを身に付けさせる（生徒指導部）
- b生徒の的確な実態把握を行い、授業や寄宿舎生活の中で称賛する場面を多く作り、生徒の自尊感情を育む（生徒指導部・学年・寮務部）
- c職業的に自立し、健やかな社会生活を営むために、健康・安全や食・性に関する教育を行う（保健指導部・寮務部）
- d心の安定を図るために、家庭や関係機関と連携し、思いやりのある態度、協調・共同する態度を育てる（特別支援教育部）

F校内外の連携強化・充実

- a学校とPTAとの連携を強化するとともに保護者の様々な不安や将来の生活設計に対応するため、ニーズに応じた専門家を招聘し、研修会を実施する（企画庶務部）
- b特別支援会議を定期的に行い、校内支援体制の充実を図る（特別支援教育部）
- c対外的なセンター的機能の充実を図るため、教育相談のシステムを整備し取組む（特別支援教育部）
- d学校見学やHPをとおして積極的な広報活動を行うとともに各教育事務所との連携強化を図り、小・中学校への情報発信を行っていく（教務部・企画庶務部）

Gミッションを踏まえた専門性と組織力の向上

- a学校評議員や外部専門家との連携強化を図り、チーム学校として専門性の向上及び組織力の強化を図る
- bスクラップアンドビルドによる行事の精選、教職員の業務改善等を行う
- c組織の専門性の維持、向上のために文書保管・管理システムを整備する
- dOJTの充実を図る